観光を通じて未来を創る学び舎
未来観光塾
for Working People

『今』と『未来』の
ツーリズム業界で活躍し、
明るい未来を拓き、
導くチカラを手に入れる。

未来観光塾は、
JTBグループの知見と
JTBツーリズムビジネスカレッジが
長年培ってきた教育ノウハウを通じて、

1 自社で社員教育や研修を行うことが難しい
2 実務や現場対応、危機管理など実践で活用できる内容を学ばせたい
3 外国人スタッフに日本流ビジネス・コミュニケーションを身につけてほしい
4 リスキリングやスキルアップを通じて、社員の成長と生産性の向上を実現したい

といったニーズにお応えします!!

各地域や企業のオーダーメイド研修のご相談も承ります！

お気軽にお問い合わせください　WEBからのお問い合わせ

学校法人 国際文化アカデミー
JTBツーリズムビジネスカレッジNEXT
次のステージに踏み出す社会人・大学生のための自己成長支援プラットフォーム

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-2-12
03-5944-5255
jtc-next@jtb-college.ac.jp

淑徳大学
SHUKUTOKU　共に歩む　これまでも　これからも

経営学部
観光経営学科
体験型学習を通して観光経営の実践を学ぶ
観光産業で活躍するマネジメント人材をめざします

淑徳大学　〒174-8631　東京都板橋区前野町 6-36-4
TEL：03-3966-7631（代表）
大学ホームページはこちらから

進化する観光経営人材育成　淑徳大学

開学から60年の節目を迎えた淑徳大学では、さらなる高みをめざして近年、観光経営人材育成を多角的に推進する。

その一つが、令和6年度からスタートした「東京都観光経営人材育成講座」である。〝地域が誇る自然資源を活かした観光〟をテーマに、座学やフィールドワークを通じて学ぶ全12回の講座で、観光事業者らを対象に、一流の講師陣によって構成される。

サステナブルツーリズムにおける新たな担い手づくりは、大乗仏教の教え「利他共生」を建学の精神とする淑徳大学ならではの取り組みで、社会貢献活動の一環でもある。喫緊の課題である地域経営やホスピタリティスキルアップを多彩に展開する。

近ごろは、東武タワースカイツリー株式会社の協力のもと、新入生約120人が東京スカイツリーを視察・見学したばかり。「実学の淑徳」を旗印に、関連企業や業界団体、自治体などと連携した特色ある学びを推進している。

なかでも、キャリア教育の根幹となる独自のインターンシップ・プログラムや、グローバル意識の醸成に寄与する短期海外研修（シンガポール・ハワイ）には定評があり、例年、多くの学生が参加する。

観光分野のみならず、簿記・会計やマーケティング、データサイエンスなど経営学の基礎を修得して、「観光経営学士」の称号をもって卒業したリズム、HIS等。宿泊業は相当数を輩出しており、東急・東武系ホテルやプリンスホテル、星野リゾートなど。また、地方公務員や不動産、金融機関などへも就職をしており、観光をさまざまな視座から支えている。

主な就職先は、運輸ではJR東日本やJAL・ANAグループ、ソラシドエア総合職に、旅行業では日本旅行や東武トップツアーズ、クラブツーリズム、HIS等。宿泊業は相当数を輩出しており、東急・東武系ホテルやプリンスホテル、星野リゾートなど。また、地方公務員や不動産、金融機関などへも就職をしており、観光をさまざまな視座から支えている。

これら活動の成果は、淑徳大学・東京キャンパスを会場に、今冬、開催される「日本観光研究学会」第41回大会（26年12月5・6日）シンポジウム、ならびに観光経済新聞特集記事で発表の予定だ。

千葉・千葉第二・埼玉・東京の4キャンパス、7学部13学科で展開する淑徳大学は、なかでも観光経営学科が東京キャンパス（東京・板橋）という地の利を生かして、学部生のフィールドワークを多彩に展開する。

JTBツーリズムビジネスカレッジ　「学び直し」へ新たな教育

JTBツーリズムビジネスカレッジ（学校法人国際文化アカデミー）は、1982年にJTBグループが設立した専門学校。開校以来の希望者就職率は99・8%。ツーリズム業界就職率95・3%、JTBグループ就職率45・0%を誇っている。特筆すべきはJTBグループへの就職者数で、累計で3111人に上る。

同校は今年4月、社会人のリスキリング（学び直し）から大学生の就業体験まで、観光を学びたいすべての人に門戸を開く新しい教育プラットフォーム「JTBツーリズムビジネスカレッジNEXT」を本格始動した。

その背景と狙いについて、同校の常務理事法人統括本部長の鈴木良照氏は次のように説明する。

「特に社会人の中で、新しい業務に必要なスキルを習得する学び直し『リスキリング』のニーズが高まっています。また、コロナ禍を経て、観光業界のビジネスモデルは大きく変わり、各所で深刻な人手不足も起きています。日本全体で労働人口が減る中、一人一人の生産性を上げることで、企業としての収益の確保や改善が不可欠になっています。加えて、個人が『自分には何ができるのか。どんな能力を持っているのか』を明確に問われる時代にもなっています。だからこそリスキリングが重要で、そこを私たちがサポートしようと『NEXT』を立ち上げました」。

NEXTが手掛けるのは「観光を通じて未来をつくる人を育てる」。「観光を通じて未来を創る学び舎『未来観光塾』」。大学生向けのプログラムでは、就職活動でライバルと差をつけるための実践的なインターンシップや課題解決型プログラムを提供し、「好き」や「憧れ」を本物のキャリアに変えるための第一歩を後押しする。また、社会人向けプログラムでは、新しい顧客ニーズや多様化するサービスを身に付け、それらを常に形態に対応するためのリスキリング、若手育成、実務研修など、JTBのノウハウをベースに、お客さまとの円滑なコミュニケーションに必要な知識やスキルを幅広く学ぶ。

学生の学びは、毎年入学直後に「リゾナーレ八ヶ岳」で行われるフレッシャーズキャンプからスタート。新しい仲間や教員との交流を深めるほか、本物のサービスを体験し、業界への理解や学ぶ意欲を育むのが目的だ。その後、1年次前期は共通した学びや長期インターンシップを経験。後期には学びたい内容に合わせてコースを選択する。ホテル・観光科は、企業と連携した課題から取り組みたいものを学生が選択。「魅力的な旅をつくる」ことを念頭に、学んできたマーケティングを実践し、企画・制作力を磨きながら研究を進めていく。主な課題は、①新ホテルの企画②ホテルの課題解決（SDGs、食品ロス削減など）③観光客向けイベントの企画実施④カマレンジャーとして蒲田の魅力を発信⑤ツアーの企画実施―の五つ。これらを学生に経験させることで、「自ら考え行動し、新しい旅のスタイルと滞在の演出ができる観光人材の育成」につなげていく。

遠藤麻由教師は星野リゾートの出身。2020年のホテル・観光コース発足時から学生の指導にあたっている。遠藤教師は教育にマーケティングを取り入れる狙いについて「観光マーケティングコースでは、新しい旅の魅力や旅のスタイルを提案できる人材教育を行います。観光デザインという新科目も導入し、ホテル、旅行会社だけでなく、OTA、DMO、観光行政などでも活躍できる人材を育成していきます」と話す。

25年度の就職率は100%。卒業生の主な就職先は、星野リゾートを筆頭に、ホテルニューオータニ、ザ・リッツ・カールトン東京、マリオット・インターナショナルジャパン、三菱地所ホテルズ&リゾーツ、京急電鉄などとなっている。

JTBカレッジ外観

JTBカレッジの図書室

日本工学院専門学校　星野リゾートと教育連携

日本工学院専門学校は26年4月、「ホテル・観光科」を新設。ビジネス系の学科で「ホテル・観光コース」として行ってきた教育をさらに発展させ、星野リゾートプロデュースによる教育で、次世代のホスピタリティ産業を担う観光人材を育成している。

「サービスは覚えるものではなく、自分で発想し生み出すもの」という星野リゾートの理念を共有。「観光マーケティングコース」「ホテルスタッフコース」の2コース制で、スマートフォンの普及やライフスタイルの変化、インバウンドの拡大などにより、旅行のあり方が大きく変わりつつあるホテル・観光業界の未来を見すえた教育を展開する。

同校では、専門学校で唯一、日本を代表するリゾート運営会社である星野リゾートと教育連携。ホテル・リゾートの実践的業務を学べる教育を実施している。星野リゾートスタッフの講師派遣や教育カリキュラムの共同開発をはじめ、星野リゾートでのインターンシップ、就職サポートなど多彩な取り組みを展開。観光業界に新風を吹き込み続ける星野リゾートのマインドやメソッドを取り入れ画期的な教育を提供している。

「観光マーケティングコース」では、星野リゾートのマーケティング術を授業に導入。授業の中で実際に観光プランを作り、実社会で活用する経験を通じて、観光業界を含む幅広い業界で活躍するために必要な知識とスキルを習得する。「ホテルスタッフコース」は、お客さまがホテルでより良い時間を過ごすためのサービスを、自分で発想して提供できるホテルスタッフ（ホテリエ）を育成するコース。ホテルスタッフにとって何より大切なホスピタリティ（深い思いやり・心からのおもてなし）の精神をコミュニケーションの一つととらえ、長年にわたりその向上に取り組んできた星野リゾートの接客ノウハウをベースに、お客さまの空港業界などの企業や地域とも連携。学生は、〝旅をつくる〟をキーワードに、地域活性や観光デザイン、ホスピタリティマネジメントなどの専門力を、企業連携課題などを通じた超体験型実習で実践的に身に付けていく。

2年間の集大成として取り組む卒業研究では、企業と連携した課題から取り組みたいものを学生が選択。「魅力的な旅をつくる」ことを念頭に、学んできたマーケティングを実践し、企画・制作力を磨きながら研究を進めていく。主な課題は、①新ホテルの企画②ホテルの課題解決（SDGs、食品ロス削減など）③観光客向けイベントの企画実施④カマレンジャーとして蒲田の魅力を発信⑤ツアーの企画実施―の五つ。これらを学生に経験

実習風景

リゾナーレ八ヶ岳でのフレッシャーズキャンプ

軽井沢でのツアー企画実施

遠藤教師

蒲田キャンパス
ホテル・観光科
Produced by 星野リゾート
観光マーケティングコース
ホテルスタッフコース
Hotel & Tourism わかたび NIHON KOGAKUIN
“旅を学び、旅をつくる”を観光産業で活躍する人材を育成！

超体験型実習で、
“旅を学び、旅をつくる”

ホテルの宿泊プランを企画
地元蒲田にあるホテルとのコラボで、学生が毎年宿泊プランを企画。実際に販売するプランの企画から準備、施工までを行っています。

ホテルの課題解決に挑戦
ホテル・不動産を運営する企業との連携で、「ホテルにおける食品ロス削減策の提案」をテーマとした卒業研究に取り組んでいます。

ツアー企画を学ぶ
旅行会社の現役スタッフを講師に招き、本物のツアー造成を学習。クラス旅行や留学生向けツアーなどを企画し、実践しています。

海外研修
生きた英語・異文化に触れ、立案した旅行プランを実践する海外研修を実施しています。（オーストラリア、シンガポール、香港などで実施）

日本工学院専門学校
〒144-8655　東京都大田区西蒲田5-23-22
0120-123-351　https://www.neec.ac.jp/
@nihonkougakuin　@neec_official　@nihonkogakuin　@nihonkogakuin_official
KATAYANAGI INSTITUTE 2027年、片柳学園は創立80周年を迎えます
ホテル・観光科　2年制
Produced by 星野リゾート